

1 概要

施設名称	廃棄物貯蔵施設(双葉1工区)	調査日時	令和3年2月10日
	廃棄物貯蔵施設(大熊1工区)		

2 調査事項(中間貯蔵施設に係る指針の規定事項)

調査事項	適	不適	特記事項
一 貯蔵の方法	■	□	
二 施設からの保有水漏出による公共の水域等汚染防止措置	■	□	
三 空間線量率(測定・記録)(施設の周囲)→1回／7日以上(定置終了後→1回／月以上)	■	□	
四 火災発生防止措置、消火設備整備	■	□	
五 施設内を定期的に点検、飛散、流出、漏出のおそれがある場合、速やかに回復措置	■	□	
六 ねずみ・蚊・はえ・その他の害虫の発生防止	■	□	

3 施設の状況



廃棄物の受入状況(双葉1工区)
鋼製容器に入った廃棄物は、輸送車両の荷台で、前後左右にずれないように固定されていた。



同左
鋼製容器に入った廃棄物の表面線量率を測定し、放射能濃度別に管理を行っていた。



排気ファンの設置状況(大熊1工区)
排気ファンにより、フィルターを通して施設内の空気が排気されていた。



廃棄物の定置状況(大熊1工区)
廃棄物は崩れないようボルト及びラッシングベルトで固縛されていた。